

1. 【開催案内】公開シンポジウム

「コロナ下において考えるべき栄養」

2. 【開催案内】公開シンポジウム

「文化の互換可能性—継承・翻訳・再生」

■-----
【開催案内】公開シンポジウム

「コロナ下において考えるべき栄養」
-----■

【日時】2021年7月3日（土）15:30～17:30

【場所】オンライン開催

【主催】日本学術会議食料科学委員会 IUNS 分科会

【共催】日本栄養・食糧学会

【参加費】無料

【定員】1000名

【開催趣旨】

本シンポジウムでは、微生物学、医学、栄養学の専門家に、新型コロナウイルスの基礎知識、免疫力を高め、感染症を予防するための食事等についてご講演いただき、栄養学的観点から感染症を予防するにはどうすれば良いかを考える機会を提供します。

【プログラム】

<http://www.scj.go.jp/ja/event/2021/312-s-0703.html>

【事前申し込み】不要

以下のURLから、市民向け公開講座「コロナ下において考えるべき栄養」のバナーをクリックしてください。

7月3日（土）15時20分頃からお入りいただけます。

<https://www2.aeplan.co.jp/jsnfs2021/index.html>

【問い合わせ先】

第75回日本栄養・食糧学会大会運営事務局

メールアドレス：jsnfs2021(a)aeplan.co.jp

※(a)を@にしてお送りください。

TEL：06-6350-7163

■-----
【開催案内】公開シンポジウム

「文化の互換可能性—継承・翻訳・再生」
-----■

【日時】令和3年7月18日 13:00～19:00

【場所】 オンライン開催

【主催】 哲学委員会芸術と文化環境分科会

【協力】 京都大学文学研究科日本哲学史専修

【参加費】 無料

【定員】 300 人

【開催趣旨】

「翻訳者は裏切り者 Traduttore, traditore」というイタリア語の成句がある。「翻訳者 traduttore」と「裏切り者 traditore」という語の発音の類似性に基づく一種の語呂合わせである。いかに優れた翻訳でも原文を忠実に置換できるとはかぎらず、そこにはつねに原文からの隔たりの、いわば「裏切り」の可能性が孕まれている、というわけである。文化を継承してゆくことにも、こうした意味での翻訳の側面があるだろう。つまり、想定される文化の伝統に対して、(意図するにせよしないにせよ) そこからずれていってしまう可能性であり、言い換えれば伝統を「裏切る」可能性である。ただし、その際の「裏切り」には、ネガティブなばかりでなくむしろ「創造的」と呼べるような含意も読み込みうるのではないだろうか。本シンポジウムでは、こうした意味での「翻訳としての文化継承」の諸側面について、多彩なゲストと共に考えてみたい。

【プログラム】

<http://www.scj.go.jp/ja/event/2021/311-s-0718.html>

【事前申込み】 要 申込みフォームは以下の URL より。

<https://bit.ly/2RHm1IX>

【問い合わせ先】

geijyutsubunkakankyo25(a)gmail.com

※(a)を@にしてお送りください。

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://jssf86.org/works1.html>

=====

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

過去のメールニュースは、日本学術会議ホームページに掲載しております。

<http://www.scj.go.jp/ja/other/news/index.html>

【本メールに関するお問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。

本メールに関するお問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

発行：日本学術会議事務局 <http://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34